



日本骨髄バンクの現状（平成 22 年 7 月末現在）

	6 月	7 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,766	3,014	364,616	470,954
患者登録者数	234	235	2,718	30,776
骨髄移植例数	119	115	-	11,997

■20 歳未満のドナー登録者数

7 月 222 人

合計 13,078 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

7 月新規 109 人

延長 204 人

合計 19,239 人（17 年 9 月～）

■7 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／847 人、献血併行型集団登録会／2,037 人、集団登録会／68 人、その他／62 人

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 厚生科学審議会で骨髄バンク事業への末梢血幹細胞移植の導入を確認

8 月 5 日（木）17 時より、厚生労働省において、第 31 回厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会が開催され、①骨髄バンクおよびさい帯血バンクの現状について、②骨髄バンク事業への末梢血幹細胞移植の導入について、③造血幹細胞移植におけるクローン病・ヤコブ病の取り扱いについて等が報告、審議されました。

まず、骨髄バンク事業への末梢血幹細胞移植の導入について審議が行われました。日本造血細胞移植学会の小寺良尚会長から、血縁者間末梢血幹細胞ドナーフォローアップ事業に関する報告があり、学会の定めたガイドラインを遵守する限りにおいては、末梢血幹細胞採取ドナーの短期および中・長期の安全性が確認されたとして、骨髄バンクが末梢血幹細胞移植の実施に向けて早急に準備を開始することは妥当かつ必要であるとの報告がありました。

次に、厚生労働科学研究「同種末梢血幹細胞移植を非血縁間で行う場合の医学、医療、社会基盤に関する研究班」の主任研究員であり、当財団「PBSC T に関する委員会」委員である宮村耕一医師から、「非血縁者間における末梢血幹細胞移植の導入に向けた安全性および実施体制について」説明がありました。末梢血幹細胞移植は、欧米では約 10 年前から実施されており標準的な医療となっているが、これを導入することでドナーと患者に選択の機会が確保され、より多くの患者の命を救うことができるとし、導入の意義等について説明しました。また、末梢血幹細胞移植と骨髄移植の患者の生存率を比較した図を紹介し、非寛解期においては末梢血幹細胞移植が骨髄移植よりも生存率が高いことを報告しました。

また、骨髄移植推進財団の坂田ドナーコーディネーター部長より、導入に当たっては安全性、確実性を重視することを前提とし、G-CSF 投与期間中のドナー安全管理体制、PBSC 提供後のフォローアップ体制、健康被害発生時の体制等の検討結果を報告しました。

説明後、委員による質疑、応答が行われた結果、骨髄バンク事業への末梢血幹細胞移植の導入が確認されました。これを受けて、当財団では本年 10 月からの導入を目処とし、末梢血幹細胞採取・移植施設認定が完了した施設から導入を開始する予定です。

なお、当初は安全かつ確実に導入を進めるために、対象ドナーは、①骨髄の提供履歴があること、②HLA が遺伝子レベルで 8/8 一致していること、③PBSC 採取施設に通院可能なこと、を条件として限定的に実施していく予定です。

2 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の対応について

前述「1」の委員会での審議結果をふまえて、英国滞在歴のあるドナーの対応方法を下記のとおり変更します。調整医師、コーディネーターの方は、別添資料「変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関する対応について」をご確認ください。なお、この件に関する国からの通知が届き次第、運用を変更しますので、時期については関係者にあらためてご連絡します。

<変更される内容>

1. 骨髄のあっせんに係る変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関する取り扱いについて、8月5日に開催された第31回造血幹細胞移植委員会で審議の結果、献血において本年1月27日より緩和された英国滞在歴に関する献血制限に準じ、1980年から1996年の英国滞在歴の制限を、「1日以上」（1泊以上）から「通算1カ月以上」（31日以上）に緩和することとされました。このことにより、通算30日以下の英国滞在歴の方であれば、コーディネート進行が可能になります。その他の部分の対応については従来どおりです。
2. 財団の対応：コーディネート開始時にドナーに送付する「問診票にご記入いただく前に必ずお読みください」および「問診票」を改訂します。
3. 対応開始時期および移行時の対応
 - 国からの通知が発出された後、対応開始日をコーディネーター、地区事務局へ周知し、ドナーに対して新しい問診票を送付します。
 - 新しい問診票より前の旧問診票で1日以上の英国滞在歴の記入がある場合、現状どおり主治医を通じて当該ドナーから提供を受ける意思を確認します。
 - すでにコーディネート進行中のドナーに対して、遡及しての情報収集はしません。

3 骨髄バンク推進全国大会の開催概要

本年度の骨髄バンク推進全国大会の概要が決まりました。「骨髄バンク推進全国大会 2010 in 新潟 ～命をつなぐチームプレー～」と題して9月12日（日）、新潟市民プラザ（ホール）で開催されます。第一部の式典に続く第二部のイベントでは地元合唱団によるステージの他、トークショーやクイズを通じて、楽しみながらご来場いただいたみなさまに骨髄バンクを紹介していきます。またロビーでは、新潟県内のボランティア団体の活動の様子や「命のアサガオ」を育てている学校からのレポート等を展示します。

骨髄バンク関係者だけでなく、日頃、骨髄バンクのことを知る機会のない方にも多数ご来場いただきたいと思います。入場無料で予約不要。多くのみなさまのご来場をお待ちしています。

■日 時：9月12日（日）、第1部 式典（13:00～13:45）、第2部 イベント（14:00～15:30）

■会 場：新潟市民プラザ（ホール）：新潟市中央区西堀通6番町866番地NEXT21ビル6階

※JR新潟駅万代口（北口）より、市内線信濃町行き又は県庁・新潟駅南口行きで

「古町」バス停下車、徒歩1分。高速バスより、「古町」バス停下車、徒歩1分

※ご来場の際は公共交通機関でお越し下さい

☆全国大会に先立つ9月10日（金）、「HARD OFF ECOスタジアム新潟」球場正面広場の特設会場で、骨髄バンクドナー集団登録会を開催します。

登録時間は14：00～17：00（荒天時中止）です。みなさまのご協力をお願いいたします。

4 第5回 研音グループ チャリティーオークション

発起人である唐沢寿明さんをはじめとする多くのタレントさんの協力を得て、今年も「第5回研音グループチャリティーオークション」が開催されます。収益金は全て骨髄移植推進財団に寄付されます。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

■開催場所：携帯サイト「研音 Message」内、オークション特設サイト

(<http://www.ken-on.com/auction/2010/>)

■開催期間：2010年8月16日（月）～30日（月）

※チャリティーオークションのご案内は研音グループオフィシャルサイトにもあります

(<http://www.ken-on.co.jp/auction/2010/index.html>)

5 寄附金控除についてのお知らせ

いつもご支援ありがとうございます。骨髄移植推進財団は公益財団法人に認定されていますので、当財団への寄附金は所得控除の対象となっています。公益財団法人については、これまで寄附金から5,000円を差引いた金額を控除することができましたが、本年より、寄附金から2,000円を差引いた金額を控除できるようになっています。今年分の申告でご適用下さい。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	9月15日（水）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、調整医師、採取施設、移植施設およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 骨髄採取量および自己血準備量に関するドナーへの説明について

マンスリーJMDP 平成 22 年 6 月 15 日号で「骨髄採取量および自己血準備量の算定方法について」をお知らせしました。

骨髄採取量に関する説明内容としては、「骨髄提供者となられる方へのご説明書」 p18 に

「採取する骨髄液の量は患者の体重 kg あたり 15ml を目標としています。ただし、採取量はドナーの身体に負担にならない範囲で設定されます」と記載していますが、調整医師から、ドナーの方によりわかりやすい説明方法を検討してほしい旨の依頼がありました。

対応方法および説明内容について、地区代表協力医師および地区事務局代表、コーディネーションスタッフの方々に相談し、ご意見を踏まえて、コーディネーターが最終同意面談時にドナーの方およびご家族に「骨髄採取量および自己血準備量について（ドナーの方へ）」を渡し、コーディネーターまたは調整医師が説明することとしました。同封の資料をご確認の上ご対応いただきますよう、お願いいたします。

8 コーディネート事例の共有について（地区事務局員・コーディネーターの方へ）

今年度の研修計画（マンスリーJMDP 平成 22 年 5 月 14 日号に同封）でお知らせしたとおり、ドナーコーディネート部では全地区で共有していただきたいコーディネート事例についての情報をその都度、提供していくことにしました。

今後、担当地区より報告書を提出していただいたコーディネート事例のうち、地区事務局やドナーコーディネート部が全地区での共有が望ましいと判断したコーディネート事例について、地区事務局代表、コーディネーションスタッフに配信しますので、各地区でのコーディネーター会議研修会等での事例検討、事例報告などに活用していただきますよう、お願いします。

9 連絡事項

◆「平成21年度ドナーフォローアップレポート」発行について

「平成21年度ドナーフォローアップレポート」を発行しました。調整医師、コーディネーターの皆さまに、今月号のマンスリーJMDPに同封してお送りします。

◆「調整医師および認定施設連絡責任医師会議」の開催について（調整医師の先生方へ）

マンスリーJMDP平成22年7月15日号でご案内しましたが、「調整医師および認定施設連絡責任医師会議」を第72回日本血液学会学術集会総会の会期中に開催します。なお、本会議の出席については別紙連絡票にて9月10日(金)までにお知らせくださいますよう、お願いします。

日時：平成22年9月26日（日） 12：30 ～ 13：20

会場：パシフィコ横浜 第72回日本血液学会学術集会 第1会場

内容：非血縁者間末梢血幹細胞移植導入について

◆九州地区事務局のビル名の変更について

九州地区事務局が入居しているビルのビル名が下記の通り変更されました。地番、部屋番号については変更ありません。

記

（新ビル名） ジェストビル

←

（旧ビル名）小倉興産薬院ビル